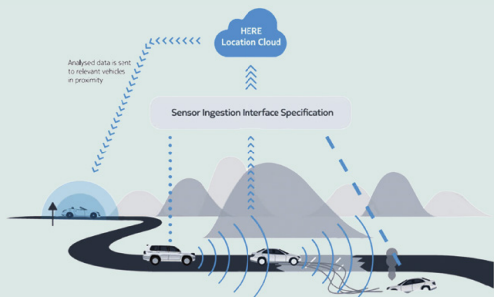


ひと・まち・モビリティ

# LIGARE

07  
JULY  
2015  
VOL  
23



## DeNAオートモーティブ事業へ参入 ZMPと提携しサービス開発へ

「リガール」

# 23

VOL. ¥1,800<sup>+</sup>TAX

自動運転技術の現在と未来 金沢大学×IPC

自動運転がもたらす付加価値 - LIGAREセミナー

## DeNA

オートモーティブ事業へ参入

## LIGARE ビジネスセミナー

自動運転がもたらす新たな付加価値

## 金沢大学 ×iPC

自動運転技術の現在と未来

### ナビロー

カーナビと同等のナビゲーションをスマートフォンで

### Gogoro in Taiwan

EV バイクシェアをスタート

### KDDI 総合研究所

Web とクルマのアイデアソン

### Wonder Japan Solution

2020 年に向けた Panasonic の挑戦

### クルマでゴー 郷商事

自動車の自己診断機能を利用したクラウド型車両動態管理用端末

### アルコール検知器の基準統一

「アルコール検知器協議会」発足

### カーシェアリングをインフラの一つにするために

「次世代都市交通に資する空間マネジメント」シンポジウム

### グローバルモビリティニュース

### ニュースファイル

# LIGARE

ひと・まち・モビリティ

リガレ vol.23 2015

※本誌掲載の記事および写真、イラスト等の無断転写、複製、放送を禁じます。

発行 株式会社 自動車新聞社  
神戸(本社) 兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6  
神戸国際会館22階

記事内容・広告掲載に関するお問い合わせ  
神戸 TEL:078-891-7207 FAX:078-891-7205  
編集部 info@j-np.com

プレスリリース受付  
press@j-np.com

皆様の声にお応えするためにも  
パートナーとしてDeNAと提携を決めた

# DeNA

## オートモーティブ事業へ参入

✓ 自動運転技術

### 構想の実現

インターネットでオークションやショッピングサイト、モバイル向けのポータルサイトなどを運営するDeNAは、新たにオートモーティブ事業に参入することを発表しました。自動運転の技術開発などを行うZMPと協同してロボットタクシー株式会社を新たに設立し、自動運転タクシーの実現に向けて取り組んでいきます。DeNA オートモーティブ事業発表会での内容を中心に紹介します。

完全自動運転によって  
近い将来「クルマ」の概念が変わる

レンタカー

自家用車

タクシー

貨物車

概念の  
融合

新会社の  
見据える未来

自動運転技術の競争  
ユーザ体験領域の競争へ

ロボットタクシーは  
サービスを拡張

観光  
サービス

住空間化

ヘルスケア  
サービス

車内  
エンタ

ロボッ  
タクシ

物流  
サー

自社内製

多様な戦略オプションから  
最良の選択で事業立ち上げ

Service

協業

M&A

ユーザー体験視点で拡張していく

ナビ

コミュニケーションサービス

O to O サービス

保険サービス

ロボタク

自動運転車への改造メー

ZMP Mobile

Service Scale



サービスの実験を開始

くージ

(未定)から、無人でもとして運用開始

(時期未定)国内外でのサービスエリア拡大

空き車両の活用(物流・配送)



写真上:左から  
DeNAロケーションズ 代表取締役社長 津島 越明 氏、  
DeNA 執行役員 中島 宏 氏、ZMP 代表取締役社長 谷口 恒氏

### 参入の経緯

DeNA は創業当時から事業領域にこだわらず、様々な産業に参入していき成功を模索しています。新たな産業へ参入する都度、アライアンスや投資の面で他社との協業を行っていくことが他のインターネット関連企業と比較してDeNAの特徴であり、今回も、ロボットカーの研究・開発を行っているZMPと協業し、ロボットタクシー株式会社という新会社を設立することで、協同してオートモーティブ事業への参入を開始しています。

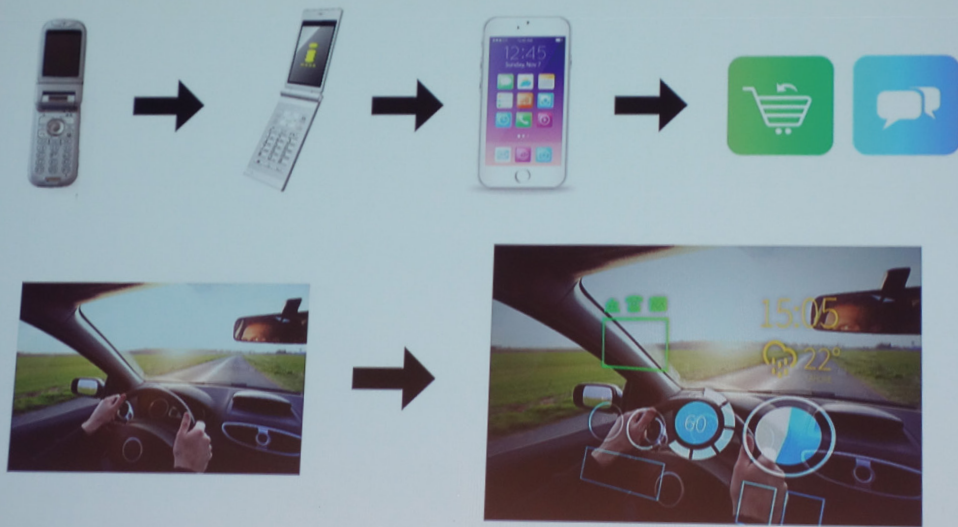
### なぜ自動車産業なのか

創業のコマース事業からゲーム事業、最近ではエンタメやヘルスケアなど様々な事業を展開してきたDeNA。ではなぜ今自動車産業への参入を決定したのでしょうか。その理由としてまず挙げられるのが、マーケットの大きさです。DeNA執行役員の中島宏氏は「なぜ自動車産業なのか」という質問を非常に多く受けますが、第一点として、非常に大きい規模を誇る産業だということです。完成車の販売領域、中古車・新車合わせて11兆円という領域です。それに加えてタクシーだけでも1.7兆円、

写真下:コマース事業などを展開してきたDeNAが今回新たに自動車産業へ参入する



## 付加価値の源泉はハードウェアからソフトウェアへと移行している



写真上:付加価値の源泉の移動

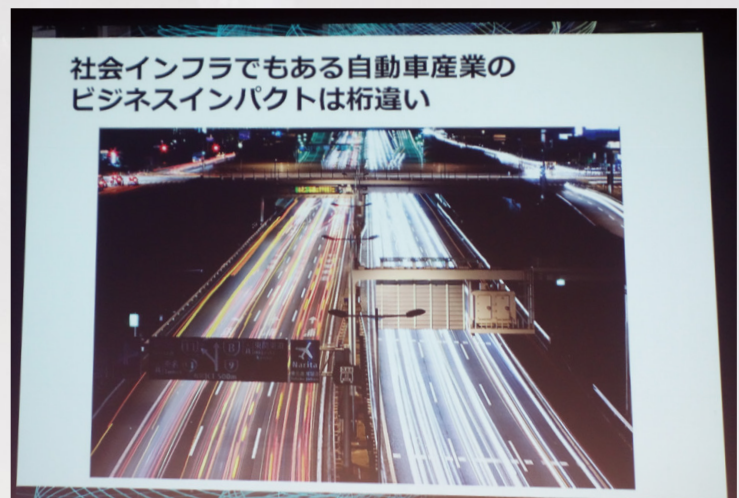
それ以外に整備産業だけ見ても5.4兆円、その周辺にはガソリンスタンドなどエネルギー領域、損害保険の領域など含めてトータルで考えると、50兆円以上はあるといわれ、日本でも最も大きい産業のうちの一つです。インターネット企業であるDeNAにとっては非常に魅力的です。例えばインターネットの会社が新規事業を構えるときにはマザーマーケットが5000億円ぐらいといわれるところに10%インターネットを貸した場合、マザーマーケットが500億円ぐらいになります。そのうちのリーディングカンパニーが20%シェアをとったとして大体100億円ぐらいの売り上げになります。充分大きいといわれるところですが、それより2桁ぐらい大きいマーケットであると理解しています」と第一点目の理由を述べています。

インターネットにつながりiモードができる手前ぐらいだと考えています。自動車がコネクテッドカーという形で色々なことができると言われています。車がインターネットに繋がったところで何ができるのかと言う人もいますが、DeNAはそう見ていません。ケータイがインターネットに繋がったことで、すごい構造変化が15年ほどで起こってしまうことを想像できた人がどれだけいたのかというところを見ると、コネクテッドカーになって何が変わるのかという声は無視するべき、もっと先を見たい、大きな変化が起こる、という観点で事業展開していきたいと考えております」と述べています。

写真下:社会インフラである自動車産業のビジネスインパクトは桁違い

### 自動車産業の変革の時代

DeNAが自動車産業に注目した理由の二点目として、自動車という大きな産業が変革のときに来ていることが挙げられます。現在ゲームや小売の産業では構造自体の転換が起こっています。つまりハードウェアからソフトウェアへ付加価値の源泉が移動しているということです。自動車業界でもハードウェアからソフトウェアへ付加価値が移行し、さらにインターネットに繋がることによって大きな変化が起こると考えられます。中島氏は携帯電話の発展と変化を引き合いに出し、「今の段階は、ケータイでいうと



# Subscription

ご購入のお申し込み

本用紙送付先 FAX : 050-3737-6662  
mail : info@j-np.com

## 1. お申し込みの購読期間に○をつけて下さい。

お申し込みプラン名	料金 (1冊)	6冊契約	12冊契約
月刊誌『LIGARE』 (モビリティサービスに特化した専門誌)	¥1,800 (税別)	¥11,664 (税込) (1,800円/1冊)	2冊分無料 ¥19,440 (税込) (1,500円/1冊)

※ご契約は契約期間ごとの自動更新となります。解約をされる場合は1カ月前まで、ご連絡をお願いいたします。  
※発売は約2か月ごとに行う予定です。

### 上記プランのサービス内容

◇自動車新聞社が発行する自動車ビジネス誌『LIGARE』を毎月お届け。(発行日、発送日は暦により変更の可能性があります)  
注目されているモビリティサービスなどの情報をわかりやすく紹介し、読者の皆様のビジネスに役立ちます。

## 2. お支払い方法は「銀行振込」のみとなります。

口座名：株式会社 自動車新聞社  
三井住友銀行 神戸営業部 (普) 8376598

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

## 3. 下記項目をご記入下さい。

※本申込書はご契約に関わります。全て正確にご記入の上、ご送付ください。 (記入日) 年 月 日

フリガナ ご契約者名	フリガナ ご紹介者名	購読開始号  vol. 号から
フリガナ お勤め先	フリガナ 部署	フリガナ 役職

フリガナ  
ご住所 〒 -

E-mail TEL ( ) FAX ( )

フリガナ  
ご送付先 〒 -

(ご住所と異なる場合)

お支払い先 三井住友銀行 神戸営業部 (普) 8376598 ※入金確認後に発送いたします。振込手数料はご負担ください。

本用紙送付先 FAX : 050-3737-6662  
mail : info@j-np.com

<お問い合わせ> TEL : 078-891-7207 (株)自動車新聞社



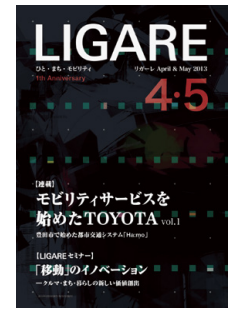
vol.6 Oct. 2012  
ホンダの実証実験から見る  
FCV水素ステーション普及への課題



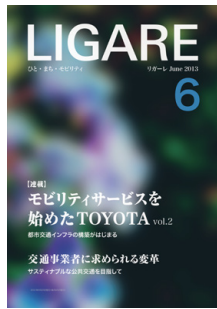
vol.7 Nov. 2012  
欧州、小型モビリティの動向  
日本で超小型EVは成功するのか？



vol.8 Dec. 2012  
なぜダイムラーはcar2goなのか？  
「クルマ糞れ」でも成立するビジネスと価値観



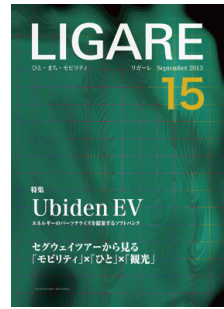
vol.12 April & May 2013  
モビリティサービスを始めたTOYOTA vol.1  
リカーレシメナー「移動」のイノベーション



vol.13 June 2013  
モビリティサービスを始めたTOYOTA  
vol.2交通事業者に求められる変革



vol.14 July 2013  
岩手県が次世代モビリティ開発拠点目指す  
スティグマを感じさせないデザイン



vol.15 September 2013  
Ubiden EV / セグウェイツアーから  
見る「モビリティ」×「ひと」×「観光」



vol.16 November 2013  
CEATEC JAPAN 2013 / モビリティ×ICT  
日産「チョイモビ」スタート



vol.17 2014  
TOYOTAが考えるスマートモビリティ社会  
Intel TIZEN IVI がモビリティを変える



vol.18 2014  
歩くまち、京都で交通ビジネスモデルの変革  
横浜スマートセルで公開実証実験



vol.19 2014  
MIT、移動の質の向上がQOL向上につながる  
宮古島のエネルギーとモビリティ



vol.20 2014  
TOYOTA Hackcars Days 2014 in Tokyo  
Continental 自動運転の実用化に向けて



vol.21 2015  
HERE HD Map & HERE Auto SDK  
BOSCHが考えるコネクテッドライフ



vol.22 2015  
NVIDIAは自動車開発をどう変えていくのか？  
DENSOマイクログリッドの展望

2015年9月31日(予定)

# LIGARE

リガール vol.24 2015

次号予定 - NEXT ISSUE

## トヨタが考える東京のモビリティ社会 (仮)

発行人 井上 清隆 編集長 井上 佳三 監修 八重樫 文 編集スタッフ 佐々木 寛子/橋本 雅嗣/服部 高久/入佐 真史/木村 一樹/大洞 静枝 アドバイザー 清 雅人  
アートディレクター 安田 至宏 デザイナー 遠藤 りら カバーアート 鈴木 グラ Publisher Kiyotaka Inoue / Editor in Chief Keizo Inoue / Supervisor Kazuru  
Yaegashi / Editorial Staff Hiroko Sasaki, Matsutsugu Hashimoto, Takahisa Hattori, Masashi Irisa, Kazuki Kimura, Shizue Obora / Adviser Masato Sumi  
/ Art Director Yoshihiro Yasuda / Designer Rira Endo / Cover Art Gura Suzuki  
Supported by ヒョウゴベンダコウギョウ, パナソニックソリューションカンパニー